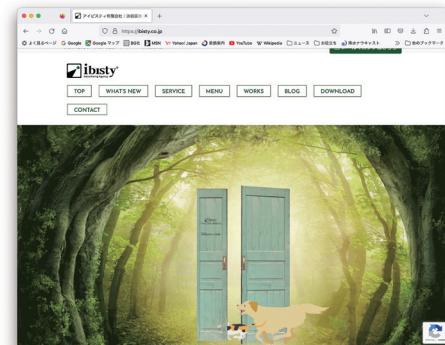


「オンラインサロン」でシニア分野に 「AI広告診断サービス」で広告業界に 新風を巻き起こす代理店



アイビスティ有限会社
<https://ibisty.co.jp/>

東京・恵比寿のアイビスティは、広告代理事業を中心として広告デザイン（グラフィックデザイン、WEBデザインなど）を多く手掛けおり、特に美容業界、シニア、ペット業界を得意としている。なかでも今はシニア分野に注力しており、昨年8月にはシニア事業部を新設、千葉県松戸市常盤平地区の高齢者向けコミュニティサロン「はれの日サロン」(<https://harenohi.club/>)を運営している。JRでは高齢者のフレイル（健康と要介護の中間の状態）対策や認知症予防の為のコンテンツ運営を行い、ライオンをはじめとする企業コラボも実施している。また松戸市と千葉大学予防医学センターとの共同研究事業として2020年11月より「オンラインサロン事業」をスタート。コロナ禍で運動不足や病気のリスクが高



▲アイビスティ(有)のホームページ

現在では希望の方にタブレットを貸与し使い方講座を行う「そばたぶ事業」(<https://harenohi.club/sapotab>)も開始している。

いと懸念される高齢者に向け、オンライン上のコミュニティや運動、さらにはモニター越しに観光を行なうオンライン旅行などを実施した。この取り組みは2022年のアジア健康長寿イノベーションのコロナ特別賞を受賞するなど国内外から高く評価されている。

(<https://www.wjcie.or.jp/japan/2021/07/30/post-13745/>)

4月から「A—I広告診断サービス」 を実施予定

シルバー以外の展開としては、2023年1月に女性向け起業家を支援するパッケージ「コトハジメ」をリリース。スタートアップの方を起業助成金などを活用して、名刺やロゴ、HPなどの制作パックを提供している。

また今年4月からは「A—I広告診断サービス」を実施する予定である。今まで広告デザインは専門

に理解してもらうために必要なのが「訴求力」であり、それを伝える方策が「プロモーション」であるが、そのプロモーションをAIによって行なうのが前述のサービスである。目線や色づかいなどのデザイン全般を蓄積されたデータから分析することで、テストマーケティングを何度も行うよりも、効率的且つ無駄な費用を掛けずに調査することができる。

どんなイメージを考えているか、キヤツチコピーはどう見られるかなどといった効果を2パターン以上出すことで、テスト運用する前に事前診断が可能となる。事前にクリエイティブデザインの見直しや改善の提案を行うことでより高感度の高い、ターゲットに合った訴求が可能となる。

こうした展開は4月12日～14日に東京・池袋で開催される「第67回インターナショナルプレミアム・インセンティブショウ春2023」の同社出展ブースで公開される。実際のサービスの全貌是非会場で体験いただきたい。

新しい商品やサービスを消費者を採用していた。



▲同社 取締役社長の中井 潮氏